

神宮と春日大社

—神宮の御装束神宝と春日大社の古神宝—

講話 神宮参事 音羽 悟

古くは内宮の禰宜を務め、菌田、井面、藤波、中川などの神宮家を輩出した荒木田氏は、中臣氏の祖大鹿島命の孫天見通命を祖先とします。また近代を迎えるまでの祭主は中臣の氏長者であった大中臣氏の岩出家（後に藤波の姓を名乗る）が、大宮司は大中臣氏の河辺家が累代その要職にありました。

春日大社とは中臣繫がりといえますが、実は20年に1度執り行われる神宮式年遷宮についても関連性が見出せます。毎年新調される714種・1576点に及ぶ御装束神宝は時代の変遷の中で仕様は変わりましたが、明治以降古儀に戻す意味で、厳島神社や熊野速玉大社などと同じように春日大社の古神宝も古儀調査会の対象とされたのです。

参考となった御料を比較しつつ、合わせて神宮式年遷宮の紹介もしたいと思います。



内宮正殿と瑞垣南御門



御鏡(比礼付)

令和8年7月5日(日)開催

時間 13時から (受付は12時半～)

場所 春日大社 感謝共生の館

会費 1,000円 (当日受付にてお納めください)

*ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。
お車でお越しの場合は、別途駐車料金(¥1500)が必要です。
*当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

<当日の予定>

受付 12:30

講話 13:00

社参 14:30

◆お申し込みはハガキ・FAX・メールで◆お問い合わせはお電話で

住所・氏名・電話番号・参加人数をお知らせください

春日大社教化部

630-8212奈良市春日野町160

<https://www.kasugataisha.or.jp/>

TEL:0742-22-7788 FAX:0742-22-1144

Mail:kyouka@kasugataisha.or.jp